

令和元年5月の労働市場の動き

(求人倍率)

- 大阪府の令和元年5月の有効求人倍率(季節調整値)は1.82倍となり、前月より0.01ポイントの上昇となった。
- 新規求人倍率(季節調整値)は2.92倍となり、前月より0.10ポイントの低下となった。

(求人・求職の動き)

- 5月の新規求人数(季節調整値)は前月比3.1%増となり、有効求人数(同)は前月比1.5%増となった。
- 新規求職申込件数(季節調整値)は前月比6.8%増となり、有効求職者数(同)は前月比1.1%増となった。
- 5月の新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると2.2%増となった。これを主要産業別にみると、建設業(前年同月比15.1%増)、製造業(同1.6%減)、情報通信業(同2.8%減)、運輸業、郵便業(同5.9%増)、卸売業、小売業(同3.7%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同1.9%減)、宿泊業、飲食サービス業(同5.1%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同0.9%減)、教育、学習支援業(同11.6%増)、医療、福祉(同0.7%減)、サービス業(他に分類されないもの)(同0.1%減)となった。

